

リサイクルを身近に ガラス工房 葵

空き瓶をガラスにリサイクルする活動の目的

岡崎市にある岡崎ガラス工房「葵」では、ごみの分別意識を高め、リサイクルを身近に感じてもらうために40年前から活動を開始した。

また、体験講座を通して、未来を担う子供たちに“**自分がリサイクルをしているという実感**”を持ってほしいという思いもある。ガラスに岡崎城公園の藤棚や花火大会等の図柄を入れ、多くの方々に岡崎の魅力を伝えている。

リサイクルした際に出る廃棄物の行き場

作品を作る際に出してしまうガラスも、リサイクルしている。透明なものは再度溶かしてガラス工芸品に、色の付いているものは色ごとに選別しガラススタイルに加工し、これを**体験講座**などに活用している。

ガラススタイルの製品

ノーマルガラスの製品

他のガラス工芸品との違い

ガラス工芸を作る専用の素材とは違い、**何も色を付けていない場合でも少し色が付く**。薄緑色や透明色でない所に魅力を感じ、愛用している人もいる。また、空き瓶は大量生産を目的としてできているので、溶かしても普通ガラス製品と比べると硬く、冷めるのが速い。手早い作業を必要とするため、通常のものより製作が難しい。